

「堺市子ども読書活動推進計画」の振り返りについて

(1) 子どもへの働きかけ

○主な取組内容

- 絵本を通して親子でふれあう機会を持ってもらうため、区役所・保健センター・市立図書館が連携し、ボランティアと協働で絵本の読み聞かせ実演やブックリスト配布及び啓発を行うと同時に絵本をプレゼントする事業に取り組んだ。
- 子どもの絵本への興味を喚起するため、認定こども園・幼稚園・児童発達支援センター等では絵本やペープサート、エプロンシアターを活用し、子どもが物語に触れる機会をつくる取組を日常的に行った。
- 美原区では子どもが多くの本に触れられる機会を作るため、市民等から寄贈された本を使って「美原まちなか文庫」を運営した。
- 子どもの発達段階に応じた本との出会いを支援するため、各施設の配布物や掲示物による本の紹介を行い、子どもが読書情報に触れるきっかけを作った。また、ボランティアの協力によるおはなし会等の子ども向けイベントを実施した。
- 子どもの読書活動のきっかけとなるよう、市のイベントや強化月間等に合わせて図書館と担当部署が連携し、関連したテーマのブックフェアを各図書館や小中学校において実施した。

○取組結果

取組指標	R5 目標値	実績値					
		H30	R1	R2	R3	R4	R5
それぞれの子どもに適応したブックスタート事業での絵本の配布率	100%	94.8%	95.7%	97.0%	99.3%	98.6%	99.6%
日常的に読書推進の働きかけを行っている施設の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
発達段階に応じた読書情報の発信回数	450 回	365 回	494 回	495 回	397 回	418 回	473 回
発達段階に応じた読書関連イベントの開催回数	1050 回	1005 回	1256 回	156 回	302 回	768 回	838 回

- ブックスタート事業での絵本の配布率は増加傾向にある。4 ヶ月検診時等で配布を行っているが、未受診者が存在するため、目標値の 100%には達していない。しかしながら、未受診者の家庭訪問をする保健師に絵本の配布も依頼することによりフォローを行っている。
- 学校園や市立図書館、子育てひろば、児童発達支援センター等、日常的に読書推進の働きかけを行っている施設では、新型コロナウイルス感染症の流行により臨時休園・休校・休館やボランティアグループによるおはなし会の中止等の影響もあったが、職員による日常的な読書推進の働きかけは続けた。
- 読書情報の発信回数は令和元年度、2 年度と増加したものの、3 年度は減少し、4 年度からは増加に転じている。新型コロナウイルス感染症の影響で市立図書館が臨時休館や利用を制限して開館をしていた時期に、代替サービスとして公式 SNS での情報発信に力を入れ、ミニブックフェアの実施回数を増やしたが、通常開館できるようになると来館サービスへとサービスの主軸が移り、情報発信回数が減少した。また、通常開館できるようになってからもイベントは中止が続いたため、イベントでの情報発信や関連ブックリスト作成等の情報発信ができなかったことも影響したと考えられる。配布物やイベントでの情

報発信は各施設で行われているが、他部局の公式 SNS への掲載依頼等、広く市民に情報が伝わるよう、情報ツールのさらなる活用が求められる。

- 読書イベントの開催回数は新型コロナウイルス感染症の流行によりイベントの中止が続いたため、令和 2 年度に激減したが、徐々に回復している。中止ではなく、内容や開催方法を変更して開催したイベントもあり、今後も環境の変化に応じた柔軟な対応が求められる。

(2) 保護者への働きかけ

○主な取組内容

- 家庭における読み聞かせと読書を促進するため、ブックリスト配布による子どもの発達段階に合わせた本の紹介等、読書に関する情報提供を保護者に向けて行った。
- 子どもと絵本を楽しみ、絵本を通じた子どもの心豊かな成長につなげるため、「みんなの子育てひろば」等の親子が交流する場において、保護者向けの絵本をテーマにした子育て講座の開催や、絵本の紹介や読み聞かせを行った。
- 絵本の楽しさを伝えることで、家庭でも絵本に親しんでもらい豊かな心や感性を育成するため、こども園等で絵本の貸出を行った。また、園庭開放等で在宅家庭を対象に絵本の紹介や読み聞かせ等を実施した。
- 絵本を通して親子でふれあう機会を持ってもらうため、区役所・保健センター・市立図書館が連携し、ボランティアと協働で絵本の読み聞かせ実演やブックリスト配布及び啓発を行うとともに絵本をプレゼントする事業に取り組んだ。(再掲)

○取組結果

取組指標	R5 目標値	実績値					
		H30	R1	R2	R3	R4	R5
保護者へのリーフレット配布率	100%	97.4%	97.4%	95.0%	98.4%	98.5%	99.8%
保護者向け子ども読書関連イベントの開催回数	60 回	54 回	79 回	74 回	70 回	89 回	90 回

- 保護者へのリーフレット配布率は平成 30 年度の 97.4%から令和 5 年度の 99.8%と増加している。しかしながら、検診時のリーフレット配布率は未受診者がいることから 100%ではなく、手渡しでは届けられない保護者が存在する。インターネットの活用等、効果的な手法について検討する必要がある。
- 地域の子育て拠点における講座や子育てサークルへの出張事業等、地域における子育て支援と連携した活動が増え、保護者向け子ども読書関連イベントの開催回数は令和元年度に 79 回と目標値の 60 回を達成し、その後も新型コロナウイルス感染症の影響がありつつも目標値は達成し続けている。広く保護者に情報を届けるために今後も子育て支援関連機関や各種ボランティアと連携した活動を継続する。

(3) 読書環境の整備

○主な取組内容

- 子どもがくらしの中で自然に本に親しめるよう、地域文庫や子育てサークル等へ市立図書館から本の貸出を行い、地域と連携した読書環境の整備に取り組んだ。
- それぞれの特性や発達段階に応じた多様な子どもの興味に応えられるよう、市立図書館において外国語資料の収集やティーンズコーナーの設置、電子書籍の収集を行った。
- 各施設の読書環境の整備を支援するため、市立図書館から団体貸出を実施した。
- 学校図書館の環境整備のため、学校図書館司書や学校図書館サポーターを配置した。
- 子どもが多くの本に触れられる機会を作るため、市民等から寄贈された本を使って「美原まちなか文庫」を運営した。(再掲)

○取組結果

取組指標	目標値	実績値					
		H30	R1	R2	R3	R4	R5
子どもの利用を目的とした市立図書館の団体貸出利用団体数	250 団体	225 団体	232 団体	210 団体	182 団体	203 団体	217 団体
市立図書館の児童資料の貸出点数	1,800,000 点	1,776,431 点	1,626,977 点	1,331,977 点	1,489,222 点	1,624,225 点	1,567,729 点
学校の授業時間以外に普段読書をしている児童・生徒の割合	小 6 82% 中 3 56%	小 6 75.6% 中 3 51.6%	小 6 75.2% 中 3 48.9%	小 6 69.6% 中 3 調査なし	小 6 73.2% 中 3 47.3%	小 6 67.6% 中 3 45.1%	小 6 70.9% 中 3 47.3%

- 新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休園・休校の実施や様々な活動が制限され、令和 2 年度、3 年度と団体貸出を利用する団体が減少したが、4 年度からは学校園の利用が回復傾向にあり、増加に転じている。
- 市立図書館の児童資料の貸出点数は全体的にみると減少傾向にあり、令和 5 年度の児童資料の貸出点数は平成 30 年度と比べると 88.3%に減少している。児童資料に限らず、資料全体の貸出点数も 88.2%に減少しているが、そのうち電子書籍の利用は平成 30 年度と比べると令和 5 年度の貸出者数は 2.5 倍、貸出点数は 2.3 倍に増加している。公共図書館向けの電子書籍は一般市場と比べると限られたものではあるが、徐々に児童書も増えてきており、電子書籍の更なる充実が求められる。
- 普段読書をしている児童・生徒の割合は全国的な動きと同じく、堺市も減少傾向にある。本を読まない理由として「時間がない」「読みたいと思う本がない」の割合が高く、効果的な読書情報の提供が求められる。また、「文章や字を読むことが苦手」という子どもも一定数存在し、多様な子どもに対応した読書環境の整備と充実が求められる。

(4) 推進体制の強化

○主な取組内容

- 子どもの読書環境を整えるための人材を育成するために、学校図書館司書への研修を行った。
- 多角的な視点からアドバイスを行うことで各学校図書館の課題を顕在化し、課題解決につなげるために、学校教育部職員と市立図書館司書による巡回訪問を行った。
- 市立図書館職員の勤務年数に合わせた研修を実施する等、職員のスキル向上を図った。
- ボランティア活動の促進を目的に、入門講座や活動内容に関するステップアップ講座を実施した。
- 市立図書館で他部局や他施設と連携したブックフェアやイベント等を実施し、市全体で子どもの読書活動の推進に取り組んだ。

○取組結果

評価項目	評価のポイント	実施状況
堺市子ども読書活動推進会議における指標に基づく進捗管理	開催回数、進捗管理の状況	会議を開催し、各課の取組状況について情報共有を行っている。
子ども読書活動推進事業の進捗状況の公開	公開の有無、方法、内容	「堺っ子読書フォーラム」において、全体的な進捗状況と個別の取組内容を毎年報告している。
取組と達成目標の定期的な見直し	見直しの状況	各課で毎年度取組と目標を作成。取組結果を基に次年度の計画を作成している。

- 子ども読書活動推進事業の進捗状況は「堺っ子読書フォーラム」において毎年報告をしているが、参加者以外にも情報が届けられるよう、公開方法について検討する必要がある。
- 引き続き、市民・地域・学校・関連機関が連携しながら計画的・機能的に事業を推進すると同時に、外部への情報提供にも努める必要がある。